

汗と感動と挑戦にあふれる学校

益田翔陽高等学校 校長 山岡 二三男



若葉の緑が 日ごとに色づき、万葉公園の色とりどりのさつきやつ

業式の校長訓話では、生徒の皆さんに「汗と感動と挑戦にあふれる学校を生徒の皆さんが主人公になって創ってほしい」というお願いをしました。4月27日(土)には早速『緑の市』が5年ぶりに制限なしで盛大に行われ多くの地域の方が来校されました。ナス、ピーマン、パプリカ等野菜の苗とペゴニアセンパフローレンス、サルビアアフリナセア、マリーゴールド等花壇苗とイチゴジャムをたくさん購入していただきました。私は校長として初めて『緑の市』に参加しましたが、開始の9時から多くの方が訪れ近年にない大盛況となりました。いちごジャムはわずか20分で売り切れてしまうほどの人気でした。生徒が主役となり地域の方に笑顔で接する姿や、地域の方

の嬉しそうな表情を見ることができ素晴らしいイベントだと感動しました。日頃の授業の中で栽培・生産・加工した農場生産物を教育活動の一環として販売することで、直に購入して頂く方と触れ合うことで授業と社会がつながることを実感でき達成感と感動を感じてくれると確信しています。今後も地域に出るの活動や出前授業など積極的に行っていく翔陽生の学びやすさをアピールしていきたいと考えています。

学校から送った生徒を本当によく伸ばしてもらっていると感じています。令和7年度入試では特色入学者選抜(中学校校長の推薦がいらない自己推薦型の入試)が始まり、各高校の魅力化・特色化そしてその情報発信が非常に大事になってきます。生徒・教職員が一体となって社会に貢献できる人材育成、地域と連携した翔陽の学びをより進化させ、益田市から島根県や全国に元気を届けたいと考えています。

つじが咲き競う季節となりました。全国の益田農林高校、益田工業高校、益田産業高校、益田翔陽高校の卒業生におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動に對しまして暖かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、4月9日に令和6年度の入学式を行い、電子機械科15名、電気科19名、生物環境工学科40名、総合学科40名の合計114名の新入生が入学し、2・3年生と合わせて372名での今年度のスタートをきりました。4月から全学年全学科とも落ち着いた順調なスタートが切れたのではないかと思います。始

令和6年度入試では生物環境工学科と総合学科の志願倍率が1.0倍を超えました。島根県の西部の学校で志願倍率が1.0倍を超えた学校は益田翔陽高校のみでした。市内や近隣の中学校の先生方からも翔陽生の生き生きとした姿や中

最後にになりましたが、同窓生の皆様方へますますのご健勝とご活躍を心より祈念しまして、甚だ簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。

翔陽の魅力とは・・・

益田翔陽高等学校 教頭 城市直貞



島根県教育委員会では、平成26年度に「第2期しまね教育ビジョ

ようなビジョンが策定された背景には、予想し難いVUCA(ブーカ)変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)と言われる変革の時代にあると言われる現代社会があり、それらから本会報に寄稿するにあたり、改めて本校の魅力は何なのかを考えてみた。

専門性を前面に教育活動を行うことは当たり前だと思いが、異なる専門性が一つの学校を構成している本校は、そのこと自体が他校にない最大のメリットではないだろうか。そこで複

学校を挙げての部活動の強化も考えられる。県工の卓球やテニスまた産高・農林の陸上、野球、サッカーと言えば県下の強豪校に数えられていた頃を知るOBの方々も、たくさんいらつしやると思う。

「21」を策定し、続いて基本理念や施策の方向性を示す「しまね教育魅力化ビジョン」を令和2年3月に策定している。そしてその計画期間は、令和2年度からの5年間で本年は最終年度となっている。基本理念とは、「ふるさ

と島根を学びの原点に 未来にはばたき、心豊かな人づくり」を柱として、学力(自ら課題や展望を見だし、粘り強く挑戦し学ぶ人)・社会力(人とのかかわりたつなかりを大切に、新たな社会を創造する人)・人間力(自然や文化を愛し、自他とともに大切に

型専門高校のメリットが最大限発揮できていないのではないか。この1年間の勤務を振り返ると、学校行事等を企画・運営する時に、学科の垣根の高さを感じることがあった。

「創造性を発揮し、敬愛の心を持ち、誠実に生きる生徒を目指す」と本校教育目標を掲げている。「創造性」とは異なるモノが交わることで、誰もが目できない新たなモノを創り出す力と、可能性があることではないかと考えた。

令和5年度 益田翔陽高校同窓会 事業報告

日 時	業 務 内 容	会 場	日 時	業 務 内 容	会 場
令和5年 4月3日	18:30~ 第1回理事会 任期満了に伴う理事・役員の選任について	赤陵会館会議室	7月14日	18:30~ 第3回理事会 総会の反省、新役割担当	赤陵会館会議室
4月24日	10:00~ 監査会	赤陵会館会議室	9月1日	16:00~ 令和5年度翔陽高校助成 目録贈呈	翔陽高校校長室
4月27日	18:30~ 第1回役員会 4年度報告・5年度案、議長選定、役員新任	赤陵会館会議室	令和6年 2月9日	9:00~ 課題研究発表会	グラントワ
5月9日	18:30~ 定例総会対策会議 定例総会参加人員増員について	赤陵会館会議室	2月9日	18:30~ 顔合わせ会	赤陵会館会議室
5月10日	18:30~ 第2回理事会 4年度報告・5年度案、議長選定、役員新任	赤陵会館会議室	2月29日	10:00~ 第16回 同窓会入会式 (106名 入会)	翔陽高校体育館
6月10日	14:00~ 定例総会事前準備	赤陵会館会議室	3月1日	9:30~ 令和5年度卒業式	翔陽高校体育館
6月11日	9:30~ 令和5年度定例総会	益田翔陽高校	3月16日	16:30~ 結成大会	市民学習センター

令和5年度 同窓会収支報告書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日まで)

〈収入の部〉

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
1) 会費	1,644,000	1,644,000	0	令和4年度卒業生 @12,000×137人
2) 特定資産取崩収入	0	0	0	
3) 雑収入	12	16	4	利息
4) 寄付金収入	0	127,105	127,105	
5) 繰越金	774,572	774,572	0	
収 入 合 計	2,418,584	2,545,693	127,109	△収入決算減額を示す

〈支出の部〉

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減	備 考
1 事業費	735,000	787,686	52,686	
1) 組織強化費	50,000	20,000	△ 30,000	総会前夜祭助成
2) 入会記念費	180,000	296,186	116,186	卒業証書ホルダー・同窓会の栞
3) 会報印刷費	55,000	71,500	16,500	会報180部
4) 母校助成費	400,000	400,000	0	
5) 慶弔費	50,000	0	△ 50,000	祝儀・香典
6) 寄付金	0	0	0	
2 事務（管理）費	545,000	429,710	△ 115,290	
1) 会議費	10,000	0	△ 10,000	正副会長・理事会
2) 役務費	375,000	365,000	△ 10,000	監査・職員手当
3) 需要費	150,000	63,720	△ 86,280	HPホスティングサービス他
4) 雑費	10,000	990	△ 9,010	
〔(1+2)支出計〕	1,280,000	1,217,396	△ 62,604	
『収支差額』	1,138,584	1,328,297	189,713	
3 特定資産取得支出	0	0	0	
1) 周年事業引当支出	0	0	0	
2) 会活動引当支出	0	0	0	
4 予備費支出	1,138,584	1,328,297	189,713	
1) 予備費支出	1,138,584	1,328,297	189,713	
支 出 合 計	2,418,584	2,545,693	127,109	△支出決算減額を示す

収支差引額 1,328,297

収入額 2,545,693 - 支出額 1,217,396

特定資産	3,513,686 円	島根県農協益田中央支店	定期貯金 No. 063177
	1,501,991 円	島根県農協益田中央支店	定期貯金 No. 020869

令和6年度 事業計画 (案)

益田翔陽高校同窓会	
本部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総会の開催 (毎年6月) ○ 総会開催助成 (45才期当番実行委員会へ) ○ 理事会 ○ 役員会 (正副会長会) ○ 会報の発行 ○ 入会式 ○ 入会記念品 ○ 同窓会の栞 ○ 支部組織強化対策 ○ 母校助成 ○ その他
支部	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関東支部総会開催 (令和6年5月19日(日)) ○ その他

令和6年度 同窓会予算書 (案)

(令和6年4月1日～令和7年3月31日まで)

〈収入の部〉

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1) 会費	1,272,000	1,644,000	△ 372,000	令和5年度卒業生 12,000円×106人
2) 特定資産取崩収入	0	0	0	
3) 雑収入	16	12	4	貯金利息等
4) 繰越金	1,328,297	774,572	553,725	
収入合計	2,600,313	2,418,584	181,729	△は収入予算減額を示す

〈支出の部〉

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1 事業費	972,100	735,000	237,100	
1) 組織強化費	190,000	50,000	140,000	関東支部総会助成、前夜祭助成他
2) 入会記念品費	252,100	180,000	72,100	卒業証書ホルダー、同窓会栞 134名
3) 会報印刷費	100,000	55,000	45,000	会報、資料印刷
4) 母校助成費	400,000	400,000	0	
5) 慶弔費	30,000	50,000	△ 20,000	慶弔
2 事務(管理)費	466,500	545,000	△ 78,500	
1) 会議費	0	10,000	△ 10,000	役員会
2) 役務費	375,000	375,000	0	役職員(庶務・監査)手当他
3) 需要費	86,500	150,000	△ 63,500	ホスティングサービス A4封筒
4) 雑費	5,000	10,000	△ 5,000	
〔(1+2) 支出計〕	1,438,600	1,280,000	158,600	
「収支差額」	1,161,713	1,138,584	23,129	
3 特定資産取得支出	0	0	0	
1) 周年行事引当支出	0	0	0	
2) 会活動引当支出	0	0	0	
4 予備費	1,161,713	1,123,578	38,135	
1) 予備費	1,161,713	1,123,578	38,135	
支出合計	2,600,313	2,403,578	196,735	△は支出予算減額を示す

【特別会計】 令和6年度同窓会定例総会対策費予算書 (案)

〈収入の部〉

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
総会対策費	350,000	350,000	0	前年度定例総会実行委員会より
収入合計	350,000	350,000	0	△は収入予算増額を示す

〈支出の部〉

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
事業費	350,000	350,000	0	R6年度定例総会実行委員会へ
支出合計	350,000	350,000	0	△は支出予算増額を示す

令和6年度 (第16回) 益田翔陽同窓会定例総会

◆基本構想◆

一、本年度の益田翔陽高等学校同窓会定例総会を六月九日(日)に開催する。

二、この定例総会は、平成八年度(平成九年三月卒業)の当番期生として構成する。「令和六年度」益田翔陽高等学校定例総会実行委員会」が主催する。

三、定例総会並びに祝賀懇親会は、サンパレス益田を会場として実施する。

四、総会開催資金は、祝賀懇親会出席者の会費により調達する。

五、本年度の総会引継式の席上で、次年度総会に關する一切の権限を次期当番期生に引き継ぐ。

令和6年度 益田翔陽高等学校同窓会 定例総会プログラム

と き：令和6年6月9日
と ころ：サンパレス益田

- ◎ 受付 8:30 ~ 9:00 1F ロビー
- ◎ 定例総会 9:10 ~ 10:00 2F 総会会場
- 開会宣言
 - 総会実行委員長挨拶
 - 同窓会長挨拶
 - 学校長挨拶
 - 祝辞・招待者紹介、祝電披露
 - 議長団選出・議事手続
 - 議 事
 - 第1号議案 会務報告
 - 第2号議案 令和6年度事業計画・収支予算(案)
 - 第3号議案 その他
 - 閉会宣言
- ◎ 記念講演 10:10 ~ 11:00 2F 総会会場
- 講演者紹介
 - 記念講演
 - 演 題 『会計帳簿は誰のためにあるのでしょうか!!』
『人口減少社会を共有しましょう!! 昔話を交えて』
 - 講演者 竹内 優機 氏
(島根県立益田産業高等学校 商業科 (S38卒))

----- 会場移動・休憩 -----

- ◎ 受付 11:00 ~
- ◎ 祝賀懇親会 12:00 ~ 15:00 2F 懇親会会場
- 開宴のことば
 - 実行委員長挨拶
 - 来賓挨拶
 - 鏡開き・乾杯
 - 喜寿表敬者記念品贈呈式
 - アトラクション
 - 閉宴のことば
- ◎ 引継ぎ式 15:00 ~ 15:30 2F 懇親会会場
- 開式のことば
 - 校歌斉唱
 - 同窓会旗・ハッピー引継ぎ
 - 次期当番期生(平成9年度卒)代表挨拶
 - 万歳三唱
 - 閉式のことば

◆実行計画大綱◆

一、総会日程及び会場		日時	日	程	会場
午前の部	8時30分~9時00分	総会受付			
	9時10分~11時00分	定例総会			サンパレス益田
午後部の部	10時10分~11時50分	祝賀懇親会			
	11時10分~11時50分	祝賀懇親会			サンパレス益田
午後部の部	12時00分~15時00分	祝賀懇親会			
	15時00分~15時30分	引継ぎ式			サンパレス益田

二、総会スローガン
(メイン) 『一味同心』
(サブ) 『心を一つに。未来へつなげる』

三、定例総会の参加動員計画
①会員の総会への参加が多く得られるよう、ポスター宣伝に努める。

②総会の案内者
同窓会の案内者、同窓会関係者、歴代実行委員長、当番期各科の恩師、同窓会会員で喜寿を迎えられた方を

③総会の招待者(来賓) 益田市長、県議会議員
④喜寿(77歳)を迎えられた総会出席者の先輩に「表敬記念品」を贈呈する。

実行委員長

(平成九年 電子機械科卒業)
河野 正敏



当番期実行委員を代表し一言ご挨拶を申し上げます。

令和六年度益田翔陽高等学校同窓会定例総会の開催にあたり、大畑同窓会会長をはじめ本会役員の皆様、様々なかたちでお力添えを賜りました関係者の皆様には心よりお礼と感謝を申し上げます。

能登半島を震源とする大規模地震により犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げます。とくに、被害を受けた皆様、一日でも早く平穏な生活に戻られますことを心よりお祈り申し上げます。

令和六年度のメインスローガンは『一味同心(いひみどうしん)』とし、サブスローガンには『心を一つに。未来へつなげる』を掲げました。

私たちが、スローガンに込めた想いの背景ですが、私たちは、平成六年四月の校名改称や学科改編時に入学しております。ある意味、一期生となります。また、益田工業高等学校一期生の方々が、喜寿を迎える年でもあり御縁を感じています。ここ数年、新型コロナウイルス感染症拡大により我々の生活環境は一変しコロナ前に行われていた祭事やイベントがこの三年で、大きく様変わりしました。令和五年五月八日から新型コロナウイルス感染症が五類感染症へ移行となり行動制限が緩和されました。その中でも単純にコロナ

前に戻るのではなく、コロナ禍での様々な取組を生かし新しい形、新しい考えで運営している益田翔陽高等学校同窓会の一員であり当番期である私たちは、心を一つにして同じ目的をもった仲間と共に明るい未来に向けて繋がっていきたくという想いで、このスローガンを設定いたしました。

新型コロナウイルスの影響で、今まで当たり前前かが、当たり前前に出来ない時代となり、例年開催されていた定例総会も開催されない期間もあり、昨年度から開催できるようになりました。以前のように皆様に喜んでいただければと考えています。

少し前に、卒業してから何十年振り卒業アルバムをみました。高校時代、多くの仲間と共に過ごし、全然勉強をしなくて先生に怒られたこと、規則を守れず先生に怒られたこと、それら全ては大人になる前の高校時代に、先生や仲間が良き道に導いてくれたから、今があるのだと思います。

高校時代の仲間になりたいと思っても、様々な事情で会えなかったコロナ禍。コロナ禍で人と接する機会が減少し、SNS等の発展により会わなくても意思疎通ができる時代となりましたが、やはり人と人が顔を合わせるのには、とても素晴らしいことです。この定例総会が多岐の世代を超えた架け橋となり未来を共につなげていければと思います。

結びになりますが、母校であります益田翔陽高等学校の益々のご発展と生徒の皆様のご活躍を願うと共に、同窓会と生徒の皆様との繋がりを大切に、同窓会とご繁栄とご多幸をお祈り申し上げます関係者のご健康と誠にご多幸をお祈り申し上げます。

◆令和6年度 益田翔陽高校同窓会◆ 企画調整会議役員名簿

役職名	氏名	卒業科	
委員長	河野 正敏	電子機械科	
副委員長	福田 英史	環境土木科	
	世 良好 信	電子機械科	
部門長	広報資金	中間 康成	環境土木科
	総 会	竹内 和善	生物生産工学科
	懇親会	岡本 正明	環境土木科
	アトラクション	柳井 浩	環境土木科
副部門長	広報資金	福田 英史	環境土木科
	総 会	齋藤 源太郎	生物生産工学科
	懇親会	尾木 一政	環境土木科
		竹内 昭宏	電気科
	アトラクション	佐々木 俊輔	環境土木科
		全体サポート	福原 啓太
猪俣 国巳			環境土木科
	農原 昌 鎬	環境土木科	
	皆本 大造	環境土木科	
事務局長	宮内 健臣	環境土木科	
会計長	中間 康成	環境土木科	



翔陽高校近況報告

電子機械科 釜田 博

(昭和56年3月 益工機械科卒)

令和6年3月卒業生106名が巣立ち、今年度益田翔陽高等学校19期生として、電子機械科15名、電気科19名、生物環境工学科40名、総合学科40名の計114名の新入生を迎え、新年度がスタートしました。

昨年度はコロナ禍も落ち着き、4年ぶりに学校行事・部活動・資格試験・課外活動などに積極的に取り組み、個人の成長や、学校の諸活動に努めた1年となりました。

令和5年度のおゆみ

- 4月 1学期始業式
身だしなみ検査
入学式・対面式・入寮式
緑の市
5月 PTA総会
中間試験
6月 壮行式
生徒会・農ク・家ク合同総会
1年遠足
農クふれあい事業
(いも苗植え)
25日(木) 県総体前期
1日(木) 県総体後期
5日(月) 総体報告会
9日(金) 農ク意見発表校内大会
12日(月) あいさつ運動
14日(水) スマホ・携帯安全教室
22日(木) 農ク農業鑑定競技校内大会
26日(月) 期末試験
30日(金) 夕方ふれあい市

- 7月 学習生活支援講演会
避難訓練
1年企業見学
益田サイエンスタウン
1年球技大会
農クプロジェクト発表県大会
10日(月) 2年球技大会
12日(水) 3年球技大会
13日(木) 農業版カタリバ
18日(火) 未来ぶつちゃけトーク
21日(金) 1学期終業式
24日(月) 3年夏季補習
31日(月) オープンスクール
8月 特別教育・小型車両系実技
夕方ふれあい市
第1回中学生部活動体験
P.T.A美化活動・寮P.T.A清掃
28日(月) 2学期始業式
9月 A1農林大全校研修
2年生インターンシップ
6日(水) スマホ安全教室
7日(木) 中間試験
25日(月) オープンスクール
30日(土) 10月 体育祭
5日(木) 2年県外研修
11日(水) あいさつ運動
16日(月) 農クふれあい事業
(いも収穫)
25日(水) 農業クラブ全国大会
10日(金) 翔陽祭
22日(水) 期末試験
29日(水) 立会演説会
7日(木) 夕方ふれあい市
11日(月) 1年球技大会
13日(水) 2年球技大会
14日(木) 3年球技大会

- 15日(金) 生物環境工学科課題研究発表会
18日(水) 総合学科課題研究発表会
22日(金) 2学期終業式
9日(火) 3学期始業式
生徒会・農業クラブ・家庭クラブ合同総会
22日(月) 電子機械科課題研究発表会
24日(水) 電気科課題研究発表会
25日(金) 3年期末試験
7日(水) 地元企業セミナー
9日(金) 課題研究発表会
21日(水) 学年末試験
29日(木) 同窓会入会式
1日(金) 卒業式
5日(火) 入試学力検査
11日(月) 1・2年内球技大会
15日(金) 生物環境工学科
22日(金) 3学期終業式
10月6日(木) 「青春」と「あい」で
アプデしていく「あいのび」のスローガ
ンのもと体育祭が開催されました。今
年は5月にコロナの5類に移行したた
め、通常の体育祭が開催され、生徒の
生き生きとした姿を見ることができま
した。応援・ダンスパフォーマンス、
デコレーションのすべてに今年のス
ローガンのもと、生徒と教職員が知恵
を出し合い、新しい体育祭を実施す
ることができました。

員が演奏を聴くことができました。二日目は、農作物・加工品の販売とP.T.Aテント村での販売が行われ、おみや野菜、草花、ジャム、肉加工品などをたくさんの保護者の方、地域の方に来ていただき買っていただくことができました。最終日は生徒会が企画をしたステージが行われました。学科や各種部活動・委員会の展示、各クラス模擬店、テント村ではP.T.Aの方々による販売が行われました。模擬店では、保健所の指導の下で飲食スペースの設定、販売物など制限のない活動がおこなわれ、昨年同様の活気ある模擬店ができました。P.T.Aテント村は生徒の模擬店に合わせて、校舎周辺での出店とし、たくさんの方に来ていただき大盛況で終わることができました。午後からは、生徒会ステージ、弦楽同好会・吹奏楽のステージなどが賑やかに実施され、無事に翔陽祭も終わりました。コロナ感染対策のない通常の開催となり、生徒も保護者も教職員も3日間を楽しむことができました。

結果は 電気工部門 1位 電気科1年
電子回路組立部門 2位 電気科1年
3位 電気科1年
という結果になり、電気工部門は6月14日(金)、15日(土)出雲工業高等学校で、電子回路組立部門は同日 鳥取県 米子工業高等学校で行われた中国大会への出場権を獲得しました。中国大会への出場は電気部創部以来初の快挙になります。
また、農業系では、令和5年7月11日(火)に開催された島根県学校農業クラブプロジェクト発表県大会の分野.. Ⅲ類(ヒューマンサービス)の部で、生物環境工学科草花専攻生の「エディブルフラワーで地域活性化」の研究が最優秀賞を受賞し中国ブロック大会に出場しました。また、令和5年10月25日(水)に開催された日本学校農業クラブ連盟全国大会でも、農業鑑定競技大会の園芸分野で2名、農業土木分野で1名が優秀賞を受賞しました。

後記 今年度は、コロナの5類移行に伴い、体育祭、翔陽祭、また学校行事も昨年の様に縮小しての開催ではなく通常の開催が行われました。また、夕方ふれあい市などの機会に学校にお越しいただき、様子を見ていただければと思います。お待ちしています。同窓生の皆様には今後とも様々な方面でご協力をお願いすることも多いと思えますが、どうぞよろしく願っています。以上、簡単ではありますが、母校、益田翔陽高等学校の近況報告とさせていただきます。